

上部下部疾患の患者の内視鏡情報研究利用についてのお知らせ

課題名：「AI(人工知能)による内視鏡画像自動診断(病変拾いあげ)システムの実証実験」
について

この度、独立行政法人国立病院機構岡山医療センターでは、「上部下部疾患を対象とした内視鏡検査の精度とスピード向上のための研究」を実施することになりました。

この研究の目的は、内視鏡検査の精度とスピードを向上させることです。

この研究のため、平成17年7月から令和4年3月までに、当院で診療させていただいた方の調査を行います。対象となるのは当院で胃内視鏡と大腸内視鏡検査をうけたことのある患者さんで、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（診断・治療内容・内視鏡画像）のみです。データ上ではすべての患者様は匿名化（任意の識別番号を付与）されており、患者様のお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担が生じることはありません。なお、この研究で得られた情報は、共同研究者である特定国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター（責任研究者：野里博和）へ、患者様個人がいつい特定されない形で提供させていただき、ともに解析を行う予定です。

また、当該情報は内視鏡画像診断支援ソフトウェアの製品開発に利用される可能性があります。

この研究の科学的妥当性と倫理性は、日本医師会倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

研究を実施するにあたり、研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けていることはありません。

具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

2020年4月

【当院の問い合わせ先】

独立行政法人国立病院機構岡山医療センター
研究責任者：消化器内科 医長 万波 智彦
連絡先：086-294-9911（代表）